



学校評価の結果

2学期(11月)に御回答いただきました学校評価の集計データがまとまりましたので、結果を保護者の皆様にお示しします。

これは、学校教育法施行規則における、

第66条

小学校は、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の評価を行うに当たっては、小学校は、その実情に応じ、適切な項目を設定して行うものとする。

第67条

小学校は、前項第1項の規定による評価結果を踏まえた当該小学校の児童の保護者その他の当該小学校の関係者(当該小学校の職員を除く)による評価を行い、その結果を公表することに努めるものとする。

第79条

第41条から第49条まで、第50条第2項、第54条から第68条までの規定は、中学校に準用する。(以下略)

の規定に基づくものです。

これからも生徒・保護者・地域の皆様の期待に応えられるよう、教職員が一丸となって、お子様の教育に取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力の程、よろしくお願い致します。

[4] 当てはまる

[3] どちらかといえば当てはまる

[2] どちらかといえば当てはまらない

[1] 当てはまらない

[不明] よくわからない

* 小数点第1位を四捨五入しているため、合計が100%にならない設問があります。

1 学校は、教育方針や指導の重点を明確に示している。

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	51.7	31.9	3.4	2.3	6.4	83.6
保護者	31.6	52.7	4.5	2.8	8.5	84.2
教職員	65.5	32.7	1.8	0.0	0.0	98.2

考察と今後の主な取組

概ね教育方針や指導の重点について理解を得ている。学校だよりを短学活で生徒と読み合わせたり、生活見直し委員会での決定事項(変更事項)を分かりやすく伝えたりして、更なる理解を得るよう努めたい。

2 学校は、全体に活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である。

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	65.4	26.1	2.0	1.9	1.2	91.5
保護者	35.7	52.7	3.9	3.4	4.3	88.4
教職員	49.1	49.1	1.8	0.0	0.0	98.2

考察と今後の主な取組

昨年度より改善しており良好な状況である。学校行事や部活動など、生徒が主体的に活動する場面を通して、生徒の良さを更に伸ばせるよう今後も指導を継続していきたい。

3 学校は、学校行事等が年間を通して適切に計画されており、実践されている。

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	78.7	16.4	0.0	0.8	1.6	95.1
保護者	57.0	37.9	3.2	1.4	0.6	94.9
教職員	60.0	36.4	1.8	0.0	1.8	96.4

考察と今後の主な取組

学校行事の年間計画については概ね理解得ている。ただし、保護者からはコロナ禍で中止していた学年行事の再開を望む意見もあった。生徒に様々な経験を積みませ、能力の伸長を期せるよう見直しや改善を図りたい。

4 学校は、家庭、地域、小学校等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	50.6	32.0	3.0	3.0	7.1	82.6
保護者	32.7	52.1	5.9	2.0	7.3	84.8
教職員	56.4	41.8	1.8	0.0	0.0	98.2

考察と今後の主な取組						
概ね連携協力して教育活動を実践していると理解を得ているが、生徒や保護者の不明割合が高い。校外におけるボランティア活動など幅広い情報を取り上げ、HPや学校だよりで発信し理解が得られるよう努めたい。						
5 学校は、情報を適切に発信・提供している。(学校だより、学年だより、HP、メール等)						
	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	65.1	24.1	3.1	1.9	2.3	89.2
保護者	46.7	43.6	5.7	2.4	1.6	90.3
教職員	61.8	36.4	1.8	0.0	0.0	98.2
考察と今後の主な取組						
概ね良好である。保護者からHPやコネクトメールに関する意見があり、更に学校側で取り組めることを見直して、有効な情報発信ツールとして運用できるよう努めたい。						
6 学校(教職員)は、清掃や奉仕活動等を通して、ボランティアの気持ちを育てている。						
	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	52.8	28.8	5.9	2.6	5.6	81.6
保護者	30.2	49.7	4.3	2.0	13.8	79.9
教職員	43.6	52.7	3.6	0.0	0.0	96.4
考察と今後の主な取組						
生徒と保護者の否定的回答や不明の割合が高い。HPや学校だより等での生徒主体の活動実践や学校の取組等の情報発信に努めたい。						
7 学校(教職員)は、親身になって生徒の話に耳を傾け、勉強や生活の相談にのっている。						
	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	51.6	29.3	7.0	3.3	4.5	80.9
保護者	29.0	47.3	7.5	5.3	10.8	76.3
教職員	49.1	45.5	5.5	0.0	0.0	94.5
考察と今後の主な取組						
生徒、保護者の否定的回答と不明の割合が大きい。教育相談等の実施を周知したり、相談後の家庭連絡を密にしたり、放課後の学習会を企画したりなど取組を見直したい。						
8 学校(教職員)は、電話をかけた時や学校を訪問した時などに、親切に対応している。						
	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	60.2	26.1	4.1	1.2	4.5	86.4
保護者	64.3	28.2	4.3	1.6	1.6	92.5
教職員	61.8	38.2	0.0	0.0	0.0	100.0
考察と今後の主な取組						
概ね良好と判断するが、生徒の評価がやや低						

い。教職員の生徒対応や保護者からの電話対応などに、より適切な関わり方を徹底したい。						
9 学校(教職員)は、よいところをほめたり、活躍の場を与えたりして、生徒の能力や可能性の伸長に努めている。						
	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	56.1	29.6	4.9	2.3	3.1	85.6
保護者	33.7	42.4	8.1	5.5	10.3	76.1
教職員	54.5	43.6	1.8	0.0	0.0	98.2
考察と今後の主な取組						
昨年度同等の結果であるが、生徒と保護者の評価が低く、特に保護者の不明割合が多い。生徒のよさを認め生徒の主体的活動の場を増やすこと、生徒のよさを家庭連絡や学級通信等で積極的に発信することを意識して取り組みたい。						
10 学校(教職員)は、いじめの未然防止、早期発見、再発防止等に適切に取り組んでいる。						
	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	54.0	24.1	6.4	4.1	7.1	78.1
保護者	22.7	38.1	8.7	6.1	24.5	60.7
教職員	58.2	40.0	1.8	0.0	0.0	98.2
考察と今後の主な取組						
生徒と保護者の評価が低い。HPにいじめ防止基本方針やいじめ対策アクションプランを載せているが、生徒や保護者の不明割合から十分な機能を発揮していない。未然防止、早期発見の手立てについての取組を具体的に発信すること、家庭との連絡相談、指導後の説明を丁寧に行うことに意識して取り組みたい。						
11 学校(教職員)は、新学習指導要領のねらいである「学び合い」を意識した授業を取り入れている。						
	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	55.9	31.3	3.3	1.8	3.8	87.2
保護者	21.7	39.6	3.0	1.8	33.9	61.3
教職員	43.6	47.3	5.5	0.0	3.6	90.9
考察と今後の主な取組						
保護者の不明回答が多い。授業では話し合いや学び合いの活動時間が確保され、ICTの有効活用も進んできている。授業参観時に直接見ていただくこと、HPや学校だより等で取組の様子を発信していくことを続けたい。						
12 学校(教職員)は、火災・地震・水害等における生徒の安全確保や指導等を適切に行っている。						
	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	60.1	24.0	3.8	1.8	6.4	84.1
保護者	29.4	42.0	2.2	0.6	25.8	71.4

教職員	52.7	43.6	3.6	0.0	0.0	96.4
考察と今後の主な取組						
保護者の不明回答が多い。HPや学校だよりで避難訓練の実施状況、Jアラート発出時の対応確認などを確実に発信するよう努める。						

13 学校（教職員）は、新型コロナウイルス等の感染症に対して、感染予防に努めている。

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	55.4	30.0	5.3	2.7	2.4	85.5
保護者	32.0	43.0	8.9	5.1	11.0	75.0
教職員	50.9	43.6	5.5	0.0	0.0	94.5

考察と今後の主な取組						
保護者の否定的回答、不明の割合が多い。感染流行時の状況周知や感染対策の徹底を確実に実行するとともに学校の取組をHPや学校だよりで発信するよう努める。						

14 生徒は、学校、学級・部活動が楽しいと話し元気に登校している。（と感じている）

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	60.7	22.1	7.3	4.4	1.6	82.9
保護者	41.0	41.2	9.9	6.3	1.6	82.2
教職員	30.9	63.6	5.5	0.0	0.0	94.5

考察と今後の主な取組						
生徒、保護者の否定的回答の割合が多い。何らかの悩みや課題を抱えていることが予想されるため、まずは安心安全な環境づくり、そのうえで解消に向け、生徒や保護者に寄り添った丁寧な支援を行うよう努めたい。						

15 生徒は、整理整頓を意識して生活している。

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	58.1	27.6	7.0	2.7	0.7	85.7
保護者	18.3	36.9	30.2	12.8	1.8	55.2
教職員	25.5	58.2	12.7	0.0	3.6	83.6

考察と今後の主な取組						
生徒の意識は肯定的に捉えているが、保護者や教職員は否定的回答の割合が高い。学校での指導が他の生活の場でも実践されるよう、学校と家庭が連携して指導を継続したい。						

16 生徒は、時間を守って生活している。

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	52.0	36.6	5.9	0.9	0.5	88.7
保護者	35.3	46.5	12.8	4.9	0.4	81.9
教職員	38.2	60.0	1.8	0.0	0.0	98.2

考察と今後の主な取組						
生徒、教職員とも肯定的回答の割合が高く学校では守られている。保護者のは否定的回答が多く、家庭での時間の使い方に課題があると感じる。どの場面でも実践できるよう指導						

を継続したい。

17 生徒は、あいさつと返事を意識して行動している。

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	70.2	22.7	2.4	1.4	0.3	92.9
保護者	35.7	50.1	10.5	2.0	1.8	85.8
教職員	40.0	56.4	3.6	0.0	0.0	96.4

考察と今後の主な取組						
保護者の否定的回答が多く、家庭での実践が課題と感じる。学校での取組が他の場面でも生かされるよう指導を継続したい。						

18 生徒は、学校のみならず、家庭や地域でも、あいさつをきちんと行っている。

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	59.6	26.3	6.9	2.4	0.9	85.9
保護者	26.8	54.8	12.8	3.4	2.2	81.7
教職員	20.0	54.5	5.5	1.8	18.2	74.5

考察と今後の主な取組						
教職員の不明は学校外の様子が掴めないことが理由である。生徒と保護者の相違について生徒は実践しているが、大人は物足りないと感じていると思われる。あいさつ指導は引き続き重点指導事項として取組を継続していきたい。						

19 生徒は、マナーやきまりを守っている。

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	70.7	21.5	2.6	0.8	1.4	92.2
保護者	42.8	52.1	3.6	1.2	0.4	94.9
教職員	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	100.0

考察と今後の主な取組						
結果は良好である。部活動の大会等では保護者や他校の教職員から本校生徒の取組を高く評価いただいている。今後も生徒一人一人が意識して取り組めるよう日頃の指導を徹底しながら、良い行動を褒め主体的な行動実践を促していきたい。						

20 生徒は、他人に優しく、思いやりをもって生活している。

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	70.3	21.6	1.5	0.4	3.1	91.9
保護者	40.0	53.1	1.8	0.8	4.3	93.1
教職員	36.4	61.8	1.8	0.0	0.0	98.2

考察と今後の主な取組						
結果は良好であるが、トラブル等の経験から否定的な回答が出ていると予想される。生徒だけでなく教職員も人権感覚を磨き、言語環境を整えることで、コミュニケーション力の向上に努めたい。						

21 生徒は、体調に気をくばり、健康を大切

にした生活をしている。

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	61.2	24.1	6.9	2.2	1.9	85.3
保護者	33.7	50.5	11.8	3.2	0.8	84.2
教職員	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	100.0

考察と今後の主な取組

家庭内での様子と学校での様子にかなり差が見られる。具体的な取組についてHPや学校だよりで発信し、家庭への啓発に努めたい。

22 生徒は、ヘルメットの着用や交通ルールをよく守るなど、安全な生活に心がけている。

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	84.5	11.7	0.5	0.7	0.8	96.1
保護者	74.4	24.5	0.2	0.2	0.8	98.8
教職員	41.8	52.7	3.6	0.0	1.8	94.5

考察と今後の主な取組

多くの生徒が着用を徹底し、ルールを守っている。休日にも生徒はルール等を守り生活しており、今後も継続できるよう指導したい。

23 生徒は、学校での出来事や先生・友達の様子等をよく話している。話してくれる。生活ノートに記述したりしてくれる。

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	53.4	24.8	10.1	6.0	1.4	78.2
保護者	31.0	42.2	17.6	6.1	3.2	73.2
教職員	27.3	52.7	9.1	0.0	10.9	80.0

考察と今後の主な取組

生徒にとって話しやすい環境づくり、存在づくりを意識して指導にあたりたい。また、生徒自身が他へ相談するなど、自分の考えを伝え解決できるようにソーシャルスキルを育む指導支援も家庭と連携して実施したい。

24 生徒は、家に帰ってからも、学習を行う習慣が身に付いている。(塾も含む)

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	50.2	29.2	10.8	4.4	1.1	79.4
保護者	31.0	44.4	15.8	8.5	0.4	75.3
教職員	14.5	61.8	12.7	0.0	10.9	76.4

考察と今後の主な取組

全体として否定的回答の割合が大きい。勉強の仕方が分からず、家庭学習に取り組めていない状況が予測されるので、復習の仕方や家庭での学習ポイントをより分かりやすく示すよう指導を工夫したい。

25 生徒は外国などの異なる文化をもつ人々について理解し、尊重している。

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	56.4	30.4	4.2	1.5	3.5	86.8

保護者	25.0	50.7	10.3	2.4	11.6	75.7
教職員	40.0	54.5	1.8	0.0	3.6	94.5

考察と今後の主な取組

外国につながる生徒や外国での生活経験のある生徒は多いが、それに関わる偏見や差別等は見られていない。その状況も含めて学校の取組を積極的に情報発信するよう努めたい。

26 生徒は朝食をきちんと食べている。食べさせている。食べる指導を行っている。

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	79.5	10.9	3.1	4.1	0.0	90.4
保護者	79.9	13.2	4.3	2.6	0.0	93.1
教職員	18.2	36.4	25.5	1.8	10.9	61.8

考察と今後の主な取組

家庭できちんと朝食を食べていることが分かり好ましい状況である。また、養護教諭や栄養教諭などから適切な食育指導は実施されている。今後も継続できるよう指導したい。

27 私は、小山三中の生徒でよかったと思う。通わせてよかったと思う。教職員でよかったと思う。

	4	3	2	1	不明	4+3
生徒	54.5	26.2	5.5	6.0	3.5	80.7
保護者	44.8	36.5	4.7	5.7	8.3	81.3
教職員	49.1	36.4	9.1	3.6	1.8	85.5

考察と今後の主な取組

全体的に良好な結果であるが、不明を含めると2割程度が不満と回答している。寄せられた意見には、学校の指導方針や現状が理解できないなどが見られた。三中の魅力や強みを生かした教育活動を推進するために、その意図や方針を明確に示して、保護者と共通理解のもと丁寧に対応するよう指導改善を進めたい。

総括として

昨年度と比較して、肯定的回答が増えた項目と同程度の項目がほとんどであり、全体としては学校の指導に対して一定の理解が得られたと判断できる。

ただ、今年度も「不明」回答が多い項目も見られた。特に、学習指導や安全指導については、HPや学校だよりだけでなく、授業参観や各担当教員から取組内容を伝えるお便りを配付するなど、様々な方法で現状を発信し、保護者や地域の方々に理解していただくよう改善を進めたい。

課題は、否定的回答が多い項目への対策にある。主に生徒対応に関わることであり、現在の取組を再検証して、的確な支援や関わりができる体制づくりに努めたい。